

## 平成26年度 糸魚川市学校保健部 活動報告

部長 野上 正和

小・中学校が連携を図る中で、中学校区の児童生徒の健康課題を把握し、課題解決に向けた実践を展開した。また、義務教育9年間の視点から、関連する部門（糸魚川市学校教育研究会学校保健部会、糸魚川市養護教員会、糸魚川市学校保健会研修部）との連携を深めながら、養護教諭の資質・能力を高める研修実践を展開した。

### 1 研究主題

児童生徒の健康管理能力の育成～中学校区での実践～（2年次研修の2年目）

### 2 研究の概要

児童生徒の健康管理能力を育成するために、目指す子ども像を設定し、発達課題に合わせて、各中学校区でテーマ別（保健教育・保健管理・組織活動など）に実践研究を行う。

### 3 研究の実際

(1) 養護教諭が、自校の健康課題や中学校区の課題を踏まえた児童生徒の健康管理能力の育成を期するため、中学校区ごとに研修テーマを設定し、実践に基づいた研修を行った。

①保健教育（保健学習・保健指導など）：糸魚川東・糸魚川・青海中学校区

②保健組織活動：能生中学校区

(2) 全養護教諭が、成果を共有・実践化できるように全体研修の場を設定した。

<実践内容>

○ 研修会とグループワーク

・ 1回目：市養護教員会研修会

グループワーク・・・各中学校区の研究の方向性を確認・共有化を図る。

・ 2回目：市教育研究会保健部研修

講義と指導『健康管理能力の育成に向けた実践と評価』

講師・・・上越教育事務所 丸山美貴指導主事

グループワーク・・・各中学校区の実践報告

・ 3回目：市養護教員会研修会

県下の他支部や糸魚川市の実践の成果と課題を共有

・ 4回目：市学校保健会研修会

『学校における食物アレルギーの対応』

パネルディスカッション：学校・行政・消防署・医療機関を講師に、食物アレルギーに対する対応についての共通理解と連携体制強化の方向性を探る。

(3) 2年間の研究を実践評価し、その成果を冊子にまとめる。

### 4 成果と課題

○ 県の「学校保健推進計画」や糸魚川市教育方針「子ども一貫教育基本計画」を基に関連機関や各種部会、保護者、地域と連携を深めた実践を展開できた。

○ 各中学校区とも、児童生徒の実態に基づいた健康課題の把握から、小中一貫した共通取組実践を行い、自校の保健教育へつなげることができた。学校によっては、中学校区での学校保健委員会や強調週間等の取組を実施し、保護者や地域への啓発に取り組むことができた。

○ 中学校区間の学校で指導資料やデータの共有が図られた地域があった。

今後は、さらに養護教諭の専門性をいかし、実践の充実化を図りたい。